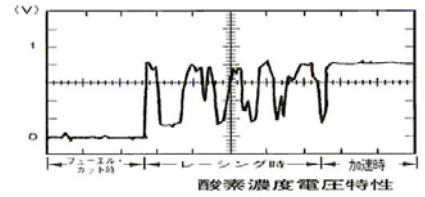


故障の特長－O₂センサ編

センサ名	O ₂ センサ
材料素子	ジルコニア素子



故障区分	故障内容		関係する制御			故障現象
	故障状態	判定内容	燃料噴射	点火時期	アイドル回転	
故障警報	上限・下限超える(燃料系不良)	故障表示	—	—	—	警告ランプが点灯する
燃料制御不良	上限が続く(信号電圧高い)	空燃比小	多い	—	—	黒煙発生、エンスト アイドル不安定
	下限が続く(信号電圧低い)	空燃比大	少ない	—	—	アイドル不安定 加速不良
故障警報	ヒータの断線	故障表示	—	—	—	警告ランプが点灯する
故障の特長	比較的判断し易い故障	故障警報があり、診断結果「O ₂ センサ・ヒータ断線」となる場合				
	難しい故障	故障警報があり、診断結果「リッチ及びリーン異常」となる場合				

故障コード	トヨタ車の故障システムの記号 B#S#	B1	B2	S1	S2	B1(バンク1は左) S1(センサ1はフロント)
		左バンク	右バンク	触媒前	触媒後	

修理方法	清掃	ルーバ部に付着のススなどを清掃する。
	交換	ポッシュ製を利用すると半額位です。(配線コネクタなどの改造要す)
修理方法	ヒータが断線している場合 疑似抵抗を取り付けて 警告ランプを消灯させる。	O ₂ センサのヒータ線を切断して、1K~2KΩの抵抗器を装着する。 ($I = E/R$ により電流値は0.01A以下となる) ヒータ線はハーネスが同色です。(トヨタ黒・黒、スズキー白・白など)
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>断線しているヒータ回路に2.2KΩの疑似抵抗を取付た状態です。電流は約0.005A程度となり発熱は少ないはずで、これで、警告ランプは消灯します。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>断線したヒータ回路に疑似抵抗2.2KΩを接続してテピングして完成です。</p> </div> </div>	
※ この修理方法は、あくまでも応急処置であり、長期使用の場合は、交換をお願いしたい。		